

設計内容の概要

- ・予めユーザーが、変更後のエアコンの設定温度と変更する時刻、もしくは温度の変更スケジュールの初期化を送信できるユーザーインターフェースを LINE Messaging API を用いて作成する。また、受け取った温度と時刻の値を入力できる、スプレッドシートの所定のセルを設ける。

- ・ユーザーが温度と時刻を入力したとき、LINE Messaging API を用いてその情報を取得する。その後、受け取った情報をスプレッドシートに入力する。また、リセットが入力された場合は設定温度の変更スケジュール（今まで入力されたすべての温度と時刻についての情報）を初期化する。

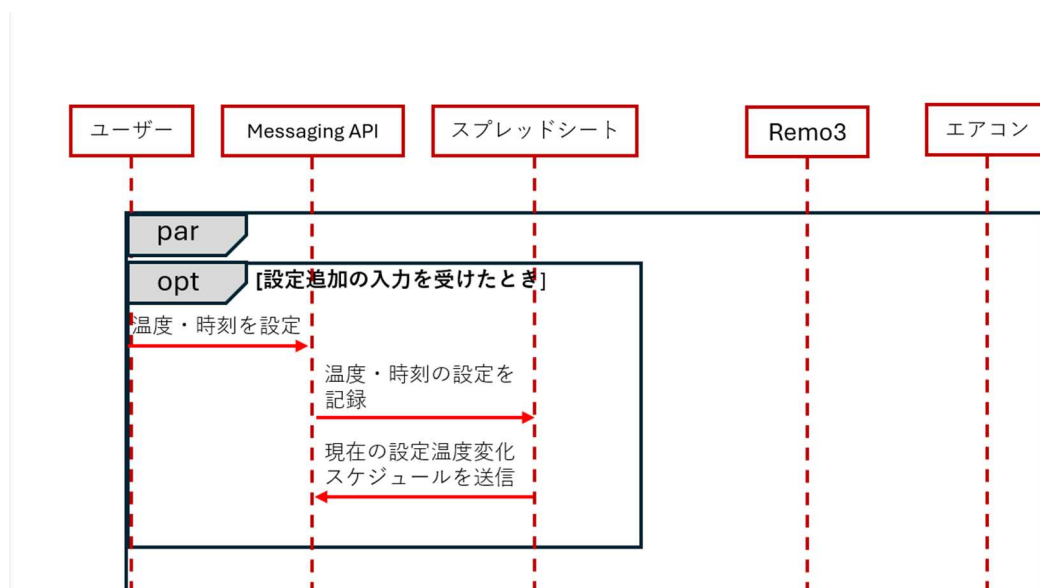
- ・スプレッドシートへの入力後、スプレッドシートから設定温度の変更スケジュールを LINE Messaging API にまとめて渡し、ユーザーに送信する。

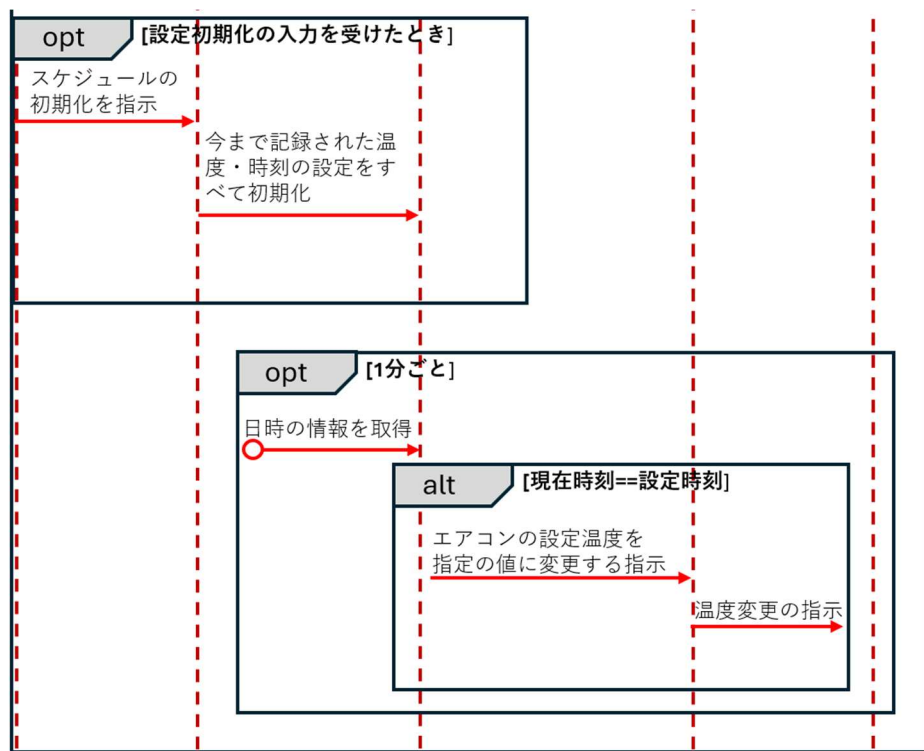
- ・1 分おきに現在時刻が設定時刻と一致しているかを確認する。一致していた場合は指定の温度にエアコンの温度設定を変更する。

システム処理の流れ

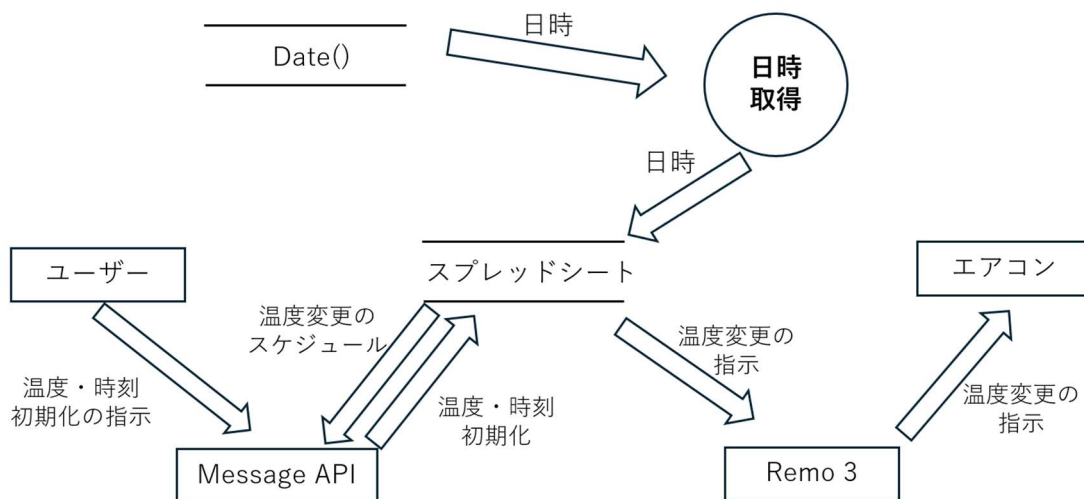
システム処理の流れを簡易的にモデル化したものを下に示す。

シーケンス図





データフロー図



必要なモジュール(.gs ファイル)

- ・ LINE Message API のデータ送受信プログラム

- ・ スプレッドシートの設定内容の入出力プログラム
- ・ 時間管理プログラム（現在時刻と設定時刻の照合する）
- ・ エアコンの温度変更プログラム